

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	1	○確かな学力の育成
目標（評価規準）	校内研修、研究授業を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図り、生徒一人ひとりに資質・能力の三つの柱をバランスよく育成する。	
重点に係る現状 設定理由	今年度完全実施の学習指導要領が求める資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性」）をバランスよく育成するため、校内研修・授業研究をとおして「主体的・対話的で深い学び」の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業改善を進め、これら三つの力をバランスよく育成するように努めたい。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> ①「校内研修、研究授業を通じた授業改善」についての設問には、100%が肯定的回答をしている。 ②「主体的に学習に取り組む態度の涵養」についての設問には、95%が肯定的回答をしている。 ③「適切な学習評価の実施」についての設問には、100%が肯定的回答をしている。 ④「家庭学習の取組み」についての設問には、肯定的な回答が77%にとどまり、取組みの改善が必要である。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ①「授業や指導法の工夫」についての設問には、生徒の90%、保護者の72%（「判断できない」15%を除くと82%）が肯定的回答であった。 ②「粘り強く（＝主体的に）学習に取り組む」ことについての設問には、生徒の87%が肯定的回答であるのに対して、保護者は62%であった。 ③「適切な学習評価」についての設問には、生徒の88%、保護者の75%（「判断できない」8%を除くと80%）が肯定的回答であった。 ④「家庭学習の取組み」についての設問には、肯定的回答は生徒の74%、保護者の78%にとどまり、4人に1人が否定的回答であった。
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> ①「授業改善」及び③「適切な学習評価」については、アンケート結果を見る限り、教職員の取組みが理解・評価されたと考えられる。また、研究授業時の授業カンファレンスでは、参加した生徒から教職員の授業改善の取組みに対して肯定的な捉えが多く寄せられている。 ②「粘り強く（＝主体的に）学習に取り組む」ことについて、36%の保護者が否定的な回答であることは課題である。 ①～③の取組みについて、肯定的回答が「教職員」>「生徒」>「保護者」となる傾向は、教職員の取組が生徒、保護者に伝わりにくい面があるためと考えられる。 ④「家庭学習の取組み」について、生徒自身の否定的な回答（26%）が、教職員（23%）や保護者（20%）をあることは課題である。 <p>・ 授業のあり方は、生徒、保護者と信頼関係を築く上で要となるものであり、授業改善の取組みを今後も充実させるとともに、教職員の取組みについてさらなる発信を行う必要がある。</p> <p>・ ④「家庭学習の取組み」について、これまでも教職員、生徒、保護者とも肯定的回答が低く課題である。②「粘り強く（＝主体的に）学習に取り組む」こともあわせて、生徒の学習意欲を地道に喚起するとともに新たな方策を模索したい。</p>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み開催中止
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研究（授業研究）のさらなる充実を図るとともに、保護者の研究授業の参観やカンファレンスへの参加など、授業改善に係る教職員の取組みを生徒、保護者と共有していきたい。 ・ 校内研究（授業研究）で得られた知見を日常の授業に生かし、主体的に学習に取り組む態度の涵養をはじめとした生徒の資質・能力の向上に結びつけていく。 ・ 家庭学習の取組や粘り強く学習に取り組む態度の涵養について、保護者や小学校と連携を図るとともに、学習方略まで踏み込んだ指導やタブレット端末によるe-ラーニングのさらなる活用など、新たな方策を模索したい。

本年度の重点	2	○豊かな社会性の涵養
目標（評価規準）	基本的な生活習慣の定着を図るとともに、「互いに認め合い、支え合い、高め合う集団づくり」を通して生徒一人ひとりの豊かな社会性の涵養に努める。	
重点に係る現状 設定理由	変化の激しい予測困難な社会を生きる生徒には、自らの人生を形作り、他者の人生に貢献していくための当事者意識や目的意識、必要な資質・能力を身につけさせる必要がある。そこで、自ら考えて責任ある行動をとれる主体性をもった生徒を育成するため、学校という集団生活の場をとおして豊かな社会性の涵養に努めたい。今年度は、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の定着、規範意識や社会的マナーの伸張を重点とする。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<ul style="list-style-type: none"> ①「規則正しい生活習慣・態度」についての設問には、91%が肯定的な回答をしている。 ②「社会のルールや学校のきまり」についての設問には、95%が肯定的な回答をしている。 ③「集団生活を送る上でのマナー」についての設問には、91%が肯定的な回答をしている。 ④「自ら考えて責任ある行動をとること」についての設問には、95%が肯定的な回答をしている。
各アンケート等の結果	<ul style="list-style-type: none"> ①「規則正しい生活習慣・態度」についての設問には、生徒の81%、保護者の70%が肯定的な回答をしている。 ②「社会のルールや学校のきまり」についての設問には、生徒の95%、保護者の79%（「判断できない」12%を除くと89.6%）が肯定的な回答をしている。 ③「集団生活を送る上でのマナー」についての設問には、生徒の95%、保護者の76%（「判断できない」10%を除くと84.8%）が肯定的な回答をしている。 ④「自ら考えて責任ある行動をとること」についての設問には、生徒の90%、保護者の88%が肯定的な回答をしている。
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> ①「規則正しい生活習慣・態度」について、生徒の回答は概ね全国学力学習状況調査の結果と一致しているが、保護者の30%が否定的な回答をしていることは課題である。 ②「社会のルールや学校のきまり」、③「集団生活を送る上でのマナー」について、教職員の指導に対して概ね理解を得られたと考えられる。 ④「自ら考えて責任ある行動をとること」について、生徒の90%、保護者の88%が肯定的な回答をしているものの、スマホやSNSの使用法等には甘さが感じられる。 ①～④とも、学校の指導に対して高い評価ではあるものの、生徒と保護者の評価にいずれも5～10ポイントのズレがあり、生徒が甘い自己評価を行っていたり、保護者の望む水準を満たしていない可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外での言動も含め、今後も家庭と連携しながら社会性の涵養に努める必要がある。 ・ 集団生活には不可欠なことであるので、今後も指導を継続し、生徒・保護者への更なる浸透を図っていきたい。
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み開催中止
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の定着について、生徒・保護者へのいっそうの働きかけが必要である。折に触れて生徒への啓発に努めるとともに、保護者と連携しながら丁寧な指導を行っていく。 ・ スマホやSNSの活用方法について、保護者も含め学校側からさらなる啓発を行っていききたい。

本年度の重点	3	○安全・安心な学習環境と開かれた学校づくり
目標（評価規準）	生徒が安全・安心に学校生活を送れる環境づくりに努めるとともに、学校だより等による情報発信や保護者・地域との緊密な連携を通じた「開かれた学校づくり」を進める。	
重点に係る現状 設定理由	コロナ禍の中、学校は生徒の安全・安心につながる場であらねばならないことが再確認された。これまで同様、命や人権の重みを最優先し、生徒が、安全・安心・安定した生活ができる学校を目指したい。また、「地域の学校」として、学校の教育活動の積極的な公開、情報発信に努めるとともに、学校と保護者・地域との相互理解を深め、連携・協力をしながら学校づくりを進める。	

評価資料	評 価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	①「子どもたちの 安全・安心を守ること」についての設問には、100%が肯定的な回答をしている。 ②「命や人権の大切さ」についての設問には、91%が肯定的な回答をしている。 ③「新型コロナウイルス対策」についての設問には、95%が肯定的な回答をしている。 ④「開かれた学校」についての設問には、100%が肯定的な回答をしている。
各アンケート等の結果	①「子どもたちの 安全・安心を守ること」についての設問には、生徒の90%、保護者の93%が肯定的な回答をしている。 ②「命や人権の大切さ」についての設問には、生徒の89%、保護者の74%（「判断できない」18%を除くと90.6%）が肯定的な回答をしている。 ③「新型コロナウイルス対策」についての設問には、生徒の94%、保護者の92%が肯定的な回答をしている。 ④「開かれた学校」についての設問には、生徒の92%、保護者の85%が肯定的な回答をしている。
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> ・①～④とも、生徒、保護者から高い評価を得られており、学校の取組みが浸透、理解されていると考えられる。 ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している「学校公開」や「授業参観」「文化祭」などが中止となり、広報活動の範囲が限定される状況ではあったが、通信類やマチコミを活用して情報公開を積極的に行った。 ※「安全・安心な学習環境」は教育活動の大前提であり、否定的な回答が0となることを目指し、継続して取り組み、さらなる信頼を得られるようにしたい。
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み開催中止
最終改善方策	※ 積極的に情報発信を行い、コロナ禍で来校する機会が減少した保護者、地域の理解、協力を得られるよう学校運営を行う。